

ROAD

輝く人たち No.28

家族の挑戦 格別な達成感を求めて



PROFILE

松田 典久 (48)・
尚子 (45)・大空 (11)

トライアスロンだけではなく、NAHAMARATHON、おきなわMARATHON、TOUR DE OKINAWAなど多くのスポーツイベントに参戦し、家族の絆を深めている。



水 泳(スイム)、自転車(バイク)、ランニング(ラ
ン)、3つを合わせた競技「トライアスロン」。
毎週土曜日、朝6時半から3時間みっちりとその練習
に取り組む家族がいます。松田典久さん(48)、妻・尚
子さん(45)、子・大空くん(11)の親子3人です。
松田さん家族がトライアスロンにはまったのは、水
泳のインストラクターをしている尚子さんの影響で小
学校低学年からトライアスロンスクール「チームゴー
ヤー」で競技に熱中していた長男・圭人さん(20)と
次男・航樹(18)さんの姿がきっかけでした。
練習や大会に参加する長男・次男の送迎や応援に徹
していた典久さんは、子どもが頑張っている姿を見て
いるうちに、「トライアスロンの大会に出て完走する
達成感ってどんなものだろう。自分もその達成感を味
わってみたい」という気持ちが強くなり、学生時代陸
上競技でならした典久さんのアスリート魂に火がつき
ます。
チームゴーヤーで練習するようになり、2014年
から始まった挑戦。平日は自宅でバイクを固定してロー
ラ練習またはランニング、土曜日は朝早くからスクー
ルで3種目練習と、週6日は何らかの形でトライアス
ロン練習を続けました。「周りには本格的に取り組む人
たちもいて自分たちにできるだろうか」という不安も
多少はありましたが、「できる範囲で楽しむ」という気
持ちでやってきたことが現在に至ります」と典久さん
は笑顔を見せます。
そして、トライアスロンの練習をしてから約半年後、
オリンピックディスタンス(総距離51.5km)。スイ
ム・1.5km、バイク・40km、ラン・10km)で行われ
るうるま市のあやし大会に出場します。
「スイムとバイクまでは順調でしたが、ランの3km
くらいで軽い熱中症となり、リタイアしようかと思っ
ていましたが、チームメンバーなど周りからの応援が力に
なり、リタイアすることなくなるとかゴールできまし
た。チームで朝早くから3種目練習をやってきて、大
会に出てゴールする事は、その結果はどうであれ、マ
ラソンとは数倍違う達成感がありました」と典久さ
んは感慨深そうに話します。
日々の練習に取り組み、少しずつ力をつけてきた典
久さんには夢があります。「頑張ってきたのは私だけ
ではない。三男の大空も兄たちの背中を見て私と一緒に
トライアスロンに挑戦してきました。妻・尚子もま
た1年前からトライアスロンに挑戦しています。将来
は夫婦で海外の大会にも参加したいです。長男と次
男は、今は競技から離れています。いつか家族全員
で大会に出て、ゴールの達成感と美味しいビールを共
有できれば最高だと思っています」と尚子さんと大
空くんは目を向けると、照れ臭そうにしながらもその
思いに答えるかのように2人は微笑みあわずきまます。
「トライアスロンは決してハードルは高くない。老若
男女問わず、自分のレベルに合わせて挑戦できます。
自己管理能力や忍耐力が養えるので、今後も家族で生涯
スポーツとしてやっていきたいです」
そう語る松田さん家族のトライアスロンへの挑戦は
これからも続きます。